



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <https://corp.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 TEL 03-3273-1511

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	240,510	0.7	13,575	△27.8	13,543	△34.5	9,387	△0.3
2024年12月期第3四半期	238,725	9.0	18,815	17.4	20,685	△1.8	9,412	△28.4

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 6,776百万円(△30.8%) 2024年12月期第3四半期 9,796百万円(△44.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	164.	50	—	—
2024年12月期第3四半期	164.	96	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年12月期第3四半期	373,999		290,325		72.3	4,739.07
2024年12月期	386,793		292,276		70.4	4,771.69

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 270,479百万円 2024年12月期 272,295百万円

(注) 2025年12月期中間連結会計期間において、企業結合に係る会計処理の確定を行っており、2024年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2025年12月期	—	70.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	4.1	20,000	15.2	20,700	△4.4	13,800	83.7	241.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) ー、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	60,592,541株	2024年12月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	3,518,181株	2024年12月期	3,527,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	57,070,125株	2024年12月期 3 Q	57,061,603株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 株式等の状況	5
(1) 株式の総数等	5
(2) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(3) 議決権の状況	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(企業結合等関係)	12
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年9月30日まで)

セグメントの名称	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	187,447	78.5	189,939	79.0	2,491	1.3
コスメタリー事業	49,440	20.7	48,391	20.1	△1,048	△2.1
その他	1,837	0.8	2,179	0.9	341	18.6
売上高計	238,725	100.0	240,510	100.0	1,784	0.7

区分	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	18,815	7.9	13,575	5.6	△5,239	△27.8
経常利益	20,685	8.7	13,543	5.6	△7,141	△34.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,412	3.9	9,387	3.9	△24	△0.3

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年9月30日まで)における日本経済は、緩やかな回復基調を続けています。個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、物価上昇による消費者マインドの下振れや、米国の関税政策の動向による影響等、景気を下押しするリスクには引き続き留意が必要です。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済において、依然として先行きは不透明な状況です。中国では米中間の貿易摩擦、不動産市場の停滞や物価下落の継続等の影響により、景気にやや減速感が見られます。米国では、3月の関税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が見られ、高金利や関税増による物価高が個人消費や設備投資を抑制し、景気は底堅く推移するも、やや鈍化傾向にあります。

日本の化粧品市場は、リオープニング効果が一巡した2024年下期以降、基調に大きな変化は見られず、底堅く推移しています。インバウンド需要については、一時的に落ち込んだものの、8月以降は訪日客数が大幅に増加したことにより、売上は回復基調にあります。

アジアの化粧品市場では、特に中国市場において、中国国産ブランドの台頭や個人消費の低迷によって市場の二極化が続いています。

米国の化粧品市場では、消費者の価格感度の高まりを背景に、中・高価格帯のブランドは厳しい事業環境に直面しています。加えて、追加関税措置に伴うコスト増等によりビジネスリスクは顕在化し始めており、今後も米国の化粧品の消費動向には注視が必要です。

このような市場環境の中、当社グループは2024年11月に公表した中長期ビジョン「Vision for Lifelong Beauty Partner—Milestone2030」を推進しています。現在は、フェーズ1「構造改革の完遂と基盤再構築」に位置付けており、日本事業の収益性向上に向けた事業構造の見直しとアジア事業の売上拡大に向けた投資を実行しています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前年同期比0.7%増の240,510百万円(為替の影響を除くと前年同期比1.3%増)となりました。中華圏ならびにコーセーコスメポート(株)において減収となりましたが、日本における「コスメデコルテ」ならびに(株)アルビオンの売上高が大きく伸長し、連結全体で微増となりました。連結売上高に占める海外売上高の割合は34.7%となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加を主因に13,575百万円(前年同期比27.8%減)となりました。主に新規連結対象のピューリ社におけるのれん償却をはじめとした管理費の上乗せと、タルト社におけるマーケティングコスト及び物流費の増加が減益に影響しました。

経常利益は、円高による為替差損の増加により13,543百万円（同34.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に中国事業の構造改革に伴う事業整理損を計上したことから、9,387百万円（同0.3%減）となりました。

化粧品事業は、ハイプレスステージにおいて増収となり、プレスステージでは減収となった結果、全体では微増となりました。

ハイプレスステージでは、メイクアップブランドの「ジルスチュアート」等が減収となりましたが、㈱アルビオンの主要ブランドを筆頭に、「コスメデコルテ」ならびに「タルト」が増収となりました。加えて、新規連結対象の「パンピューリ」の上乗せも増収に寄与しました。なお、「コスメデコルテ」はアジアにおいて減収となりましたが、日本国内で大きく売上を伸ばした結果、当第3四半期累計期間より増収に転じました。

プレスステージでは、「ONE BY KOSÉ」及び「エスプリーク」は増収となったものの、主要ブランドである「雪肌精」において、前年同期を下回る実績となりました。

同セグメントにおける営業利益は、中国本土で増益となったものの、タルト及び中国免税の減益を相殺するには至りませんでした。中国本土では構造改革の効果が顕在化したことで、当第3四半期累計期間においても黒字を維持しました。「タルト」においては、厳しい市場環境の中、ブランドのプレゼンスを維持するために積極的にマーケティング投資を実施したことに加えて、物流費の増加等により、減益となりました。

その結果、化粧品事業の売上高は189,939百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は11,684百万円（同24.6%減）となりました。

コスメタリー事業における売上高は、減収となりました。「メイクキープ」が好調に推移したものの、㈱コーセーのセルフメイクアップブランド及びコーセーコスメポート㈱のヘアケアブランド等が競争激化の影響を受け、減収となりました。

同セグメントにおける営業利益について、原価率の上昇及び減収による売上総利益の減少と、コーセーコスメポート㈱の販売費の増加を主因に減益となりました。

その結果、コスメタリー事業の売上高は48,391百万円（同2.1%減）、営業利益は5,248百万円（同22.7%減）となりました。

その他の事業は、主にアメニティ事業での増収による売上総利益の増加が寄与し、増益となりました。売上高は2,179百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は1,108百万円（同17.9%増）となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	155,483	65.1	157,046	65.3	1,563	1.0
アジア	30,015	12.6	29,883	12.4	△132	△0.4
北米	46,711	19.6	47,402	19.7	690	1.5
その他	6,514	2.7	6,177	2.6	△336	△5.2
売上高計	238,725	100.0	240,510	100.0	1,784	0.7

<日本>

化粧品事業は、「コスメデコルテ」ならびに㈱アルビオンの主要ブランドを中心に売上を伸ばした一方、コスメタリー事業は、㈱コーセーのセルフメイクアップブランド及びコーセーコスメポート㈱において減収となった結果、地域全体では微増となりました。

「コスメデコルテ」は、新製品の発売が貢献し、実績を伸ばしました。

㈱アルビオンの主要ブランドにおいて、「エレガンス」では一部商品の価格改定を4月に実施したものの、駆け込み需要の反動が続き、減収となりました。一方「アルビオン」では、エクシアシリーズを中心に内需を捉え、好調に推移し、㈱アルビオン全体において増収となりました。

プレステージの主要ブランド「ONE BY KOSÉ」及び「エスプリーク」は増収となりました。一方、「雪肌精」ではブライトニングシリーズが好調に推移したものの、一部シリーズの販売終了もあり、減収となりました。

その結果、売上高は157,046百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

<アジア>

本年度より新規連結対象となったピューリ社の売上の上乗せがあったものの、免税チャネルの減収を相殺するには至らず、地域全体ではわずかに前年同期の実績を下回りました。

免税チャネルにおいては、当社主導による出荷コントロールを継続しています。加えて、前第2四半期に発生した下期からのV字回復を見込んだ出荷増による前年ハードルの高さも減収に影響しました。

中国本土では、前第3四半期に実施した構造改革の成果が着実に表れています。当第3四半期累計期間において、売上高は前年並みまで回復しました。

その結果、売上高は29,883百万円（同0.4%減）となりました。

<北米・その他>

同地域における売上高の大半を構成する「タルト」は、増収となりました。消費センチメントの減退により、北米オフラインチャネルは減収となりましたが、既存ECの売上好調に加え、大手ECとの新規取引開始による出荷増で打ち返しました。

コーセーブランドにおいては、前年同期に「雪肌精」の大型の受注があった一方、当四半期の受注が翌四半期へ後倒しとなった影響により、減収となりました。

その結果、北米地域の売上高は47,402百万円（同1.5%増）、その他（欧州等）売上高は6,177百万円（同5.2%減）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月12日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 株式等の状況

(1) 株式の総数等

①株式の総数

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

②発行済株式

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2025年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2025年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	60,592,541	60,592,541	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数は100株で あります。
計	60,592,541	60,592,541	—	—

(2) 発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2025年7月1日～ 2025年9月30日	—	60,592	—	4,848	—	6,390

(3) 議決権の状況

①発行済株式

2025年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,518,100	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 56,930,300	569,303	—
単元未満株式	普通株式 144,141	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	60,592,541	—	—
総株主の議決権	—	569,303	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,800株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数38個が含まれております。

②自己株式等

2025年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社コーセー	東京都中央区日本橋 三丁目6番2号	3,518,100	—	3,518,100	5.81
計	—	3,518,100	—	3,518,100	5.81

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,970	86,249
受取手形及び売掛金	50,020	49,264
商品及び製品	40,216	46,703
仕掛品	3,105	4,418
原材料及び貯蔵品	26,311	26,211
その他	6,864	6,028
貸倒引当金	△151	△154
流動資産合計	240,336	218,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,466	54,854
減価償却累計額	△29,694	△30,797
建物及び構築物（純額）	24,771	24,056
機械装置及び運搬具	22,967	23,098
減価償却累計額	△19,772	△20,406
機械装置及び運搬具（純額）	3,194	2,691
工具、器具及び備品	45,881	46,020
減価償却累計額	△40,715	△40,036
工具、器具及び備品（純額）	5,166	5,984
土地	18,800	18,517
リース資産	14,675	14,367
減価償却累計額	△4,957	△5,437
リース資産（純額）	9,717	8,929
建設仮勘定	12,099	22,054
有形固定資産合計	73,749	82,234
無形固定資産		
ソフトウェア	5,535	4,895
のれん	6,972	5,657
その他	14,436	13,904
無形固定資産合計	26,944	24,457
投資その他の資産		
投資有価証券	16,750	19,802
退職給付に係る資産	18,828	18,939
繰延税金資産	6,131	5,798
その他	4,752	4,748
貸倒引当金	△700	△702
投資その他の資産合計	45,762	48,585
固定資産合計	146,456	155,277
資産合計	386,793	373,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,356	10,032
電子記録債務	14,859	14,393
短期借入金	831	779
リース債務	1,406	1,373
未払金	16,628	12,131
未払費用	13,447	12,691
未払法人税等	5,721	1,662
未払消費税等	1,736	496
返金負債	6,532	5,711
その他	2,641	2,078
流動負債合計	71,162	61,350
固定負債		
リース債務	8,985	8,247
繰延税金負債	8,893	9,276
その他	5,474	4,798
固定負債合計	23,353	22,322
負債合計	94,516	83,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	179	206
利益剰余金	243,345	244,766
自己株式	△9,055	△9,031
株主資本合計	239,316	240,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,929	4,497
為替換算調整勘定	18,461	16,191
退職給付に係る調整累計額	9,588	9,002
その他の包括利益累計額合計	32,979	29,690
非支配株主持分	19,980	19,846
純資産合計	292,276	290,325
負債純資産合計	386,793	373,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	238,725	240,510
売上原価	71,913	73,362
売上総利益	166,812	167,148
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	19,528	19,932
販売促進費	34,377	34,468
運賃及び荷造費	13,862	15,143
給料及び手当	40,379	41,211
退職給付費用	40	△82
法定福利費	6,231	6,249
減価償却費	3,693	4,714
その他	29,884	31,933
販売費及び一般管理費合計	147,997	153,572
営業利益	18,815	13,575
営業外収益		
受取利息	718	698
受取配当金	125	297
助成金収入	87	449
還付消費税等	65	48
為替差益	715	—
雑収入	326	285
営業外収益合計	2,038	1,779
営業外費用		
支払利息	3	39
貸倒引当金繰入額	55	1
投資事業組合運用損	57	58
為替差損	—	1,670
雑損失	51	40
営業外費用合計	168	1,811
経常利益	20,685	13,543
特別利益		
固定資産売却益	2,336	2,715
投資有価証券売却益	1	96
特別利益合計	2,337	2,812
特別損失		
固定資産処分損	101	275
減損損失	322	2
事業整理損	4,106	—
特別損失合計	4,531	277
税金等調整前四半期純利益	18,492	16,078
法人税、住民税及び事業税	9,513	5,113
法人税等調整額	△1,371	847
法人税等合計	8,142	5,961
四半期純利益	10,349	10,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	937	729
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,412	9,387

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	10,349	10,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	△423
為替換算調整勘定	347	△2,302
退職給付に係る調整額	△574	△614
その他の包括利益合計	△553	△3,340
四半期包括利益	9,796	6,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,861	6,099
非支配株主に係る四半期包括利益	934	677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	187,447	49,440	236,887	1,837	238,725	—	238,725
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	390	390	△390	—
計	187,447	49,440	236,887	2,228	239,116	△390	238,725
セグメント利益	15,505	6,790	22,296	940	23,236	△4,421	18,815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

セグメント間取引消去	△119
各報告セグメントに配分していない全社費用	△4,301

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位: 百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
155,483	30,015	46,711	6,514	238,725

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	189,939	48,391	238,330	2,179	240,510	—	240,510
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	374	374	△374	—
計	189,939	48,391	238,330	2,553	240,884	△374	240,510
セグメント利益	11,684	5,248	16,932	1,108	18,041	△4,465	13,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	64
各報告セグメントに配分していない全社費用	△4,530

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化粧品」セグメントにおいて、2024年12月26日に行われたPURI CO., LTD. との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。詳細につきましては、「注記事項(企業結合等関係)」の「(企業結合に係る暫定的な処理の確定)」をご参照ください。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
157,046	29,883	47,402	6,177	240,510

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	6,768百万円	7,917百万円
のれんの償却額	827	1,253

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年12月26日に行われたPURI CO., LTD. との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結会計期間の第3四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額10,625百万円は、会計処理の確定により6,537百万円減少し、4,087百万円となっております。また、それに伴いその他無形固定資産は10,229百万円、繰延税金負債は2,026百万円、非支配株主持分は1,645百万円それぞれ増加し、繰延税金資産は19百万円減少しております。

(収益認識関係)

収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象として
いることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の
所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりでありま
す。

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	105,452	28,790	46,711	6,493	187,447
コスメタリー事業	48,194	1,224	—	20	49,440
報告セグメント計	153,646	30,014	46,711	6,514	236,887
その他(注)	1,680	1	—	—	1,682
顧客との契約から生じる収益	155,327	30,015	46,711	6,514	238,570
その他の収益	155	—	—	—	155
外部顧客への売上高	155,483	30,015	46,711	6,514	238,725

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	107,843	28,533	47,402	6,158	189,939
コスメタリー事業	47,023	1,348	—	18	48,391
報告セグメント計	154,867	29,882	47,402	6,177	238,330
その他(注)	2,019	0	—	—	2,019
顧客との契約から生じる収益	156,887	29,883	47,402	6,177	240,350
その他の収益	159	—	—	—	159
外部顧客への売上高	157,046	29,883	47,402	6,177	240,510

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでお
ります。